

事業番号	01 03 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	防災対策推進事業	部局	危機管理部	課・室	危機管理防災課				
		実施期間	S38 ~	E-mail	bosai@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化								

1 現状と課題

甚大な被害が生じた令和元年東日本台風災害をはじめ、全国で頻発する地震や豪雨などの自然災害を教訓として、関係機関との連携や、訓練、備蓄など、平時からの備えの重要性が一層増している。

2 事業目的

災害による県民、観光客等への被害を最小限に抑えるため、市町村や関係機関と連携し、迅速かつ的確な対応を図ることができる危機管理体制を構築し、平時から災害発生時に役立つ効果的な訓練の実施や燃料備蓄などの「備え」の充実を推進する。


3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①「猪の満水」（令和元年東日本台風）災害デジタルアーカイブによる災害記録の保存・継承

- 令和元年東日本台風災害の記録や記憶を保存・継承するため、信州大学との共同事業により専用サイトを構築し、令和3年10月に公開
- 令和4年度は、地域の災害伝承、防災対策を推進するため、県・市町村・関係団体から、更に資料を収集し公開

②御嶽山における火山避難施設の整備

- 御嶽山の噴火が発生した際に、登山者の安全を確保するとともに噴火災害に対する防災体制の早期構築を図るため、市町村に対して火山避難施設（退避壕）の整備に要する費用への補助を実施



御嶽山剣ヶ峰付近の退避壕

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	「猪の満水」災害デジタルアーカイブ公開資料数（写真・動画等）（累計）	件	—	1,200	↗	4,000	↗	2,400	達成	令和元年東日本台風災害に関するより多くの資料を公開することが、災害記録の伝承、地域防災力の向上に繋がるため設定。R3年度と同数1,200件の新たな資料の収集・公開を目標とした。	
②	御嶽山火山マイスター認定者数（累計）	名	16	18	↗	23	↗	20	達成	御嶽山火山マイスターの地域に根差した活動が、地域及び登山者の火山防災力向上に繋がるため設定。先進事例の洞爺湖有珠火山マイスター（10期：41名）の認定数を長期目標とし、例年の認定状況を踏まえR4年度は20名を目標とした。	
③											
④											
⑤											

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	69,861	97,072	23,285	190,218	103,198	186,105	7.0
R3年度	69,861	372,438	46,567	488,866	109,226	429,042	7.0
R2年度	0	2,707,253	815,988	3,523,241	1,170,784	3,435,931	7.0

事業番号	01 03 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	防災対策推進事業		部局	危機管理部	課・室	危機管理防災課

6 主な取組実績と成果

<p>①「猪の満水」（令和元年東日本台風）災害デジタルアーカイブによる災害記録の保存・継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県及び信州大学から、国関係機関、市町村、地域住民などに、アーカイブサイトへの積極的な資料提供を呼びかけ。 ・これにより、被災・復旧・復興に関する位置情報を紐づけた写真や被災者のインタビュー動画等の公開資料が増加し、サイトの充実が図られた。 <p>②御嶽山における火山避難施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曾町及び王滝村での御嶽山の火山避難施設整備を支援。 ・これにより、平成26年の噴火災害以降、入山規制が継続している「八丁ダルミ」周辺の規制緩和に向けたハード対策が完了した。（令和5年度規制緩和） ・また、令和4年8月に開館した御嶽山ビジターセンターにおいては、名古屋大学御嶽山火山研究施設とともに最新の火山・防災情報や噴火災害の伝承、火山の魅力を伝えることにより、火山防災の普及啓発に取り組んだ。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	「猪の満水」災害デジタルアーカイブ公開資料数（写真・動画等）（累計）	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
昨年度に引き続き、国関係機関や市町村に文書等により継続的に資料提供を依頼した結果、公開資料数は目標値の2,400点を上回る4,000点となった。							
指標②	御嶽山火山マイスター認定者数（累計）	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
プレスリリースや多数機関へのHPの掲載など積極的な広報周知のほか、マイスター志望者等を対象とした基礎講習会の開催に加え、受験に伴う事前講習を平日と休日、現地対面とオンラインで開催したことにより、受講者数が増加。新たに5名のマイスター認定となり、目標値の20名（累計）を上回る23名の認定者となった。							
指標③		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標④		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標⑤		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「猪の満水」（令和元年東日本台風）災害デジタルアーカイブについては、引き続き、公開資料の充実を図るとともに、アーカイブの地域防災や防災教育等への活用策を更に検討していく必要がある。 ・火山対策については、噴火発生時、登山者等が適切な避難行動をとれるように、御嶽山が活火山であることや、令和4年度に設置した避難施設の設置場所の周知、ビジターセンターにおける情報発信内容の更新等ソフト面での対策を更に強化する必要がある。
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州大学等と連携し、地域や学校教育などでのアーカイブ活用を進め、地域の中核となる防災人材の育成を図っていく。 ・9月27日の「信州 火山防災の日」を契機として、御嶽山地域での火山避難施設の整備、火山マイスター制度やビジターセンターにおける情報発信等の先進的な取組を、県内の他火山に波及拡大させていく。

事業番号 01 03 01 **細事業一覧（令和4年度実施事業分）** 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	防災対策推進事業	部局	危機管理部	課・室	危機管理防災課
-----	-----------------	----	-------	-----	---------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	防災会議費	117 千円	129 千円	154 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	防災会議	直接	災害対策基本法、県地域防災計画に基づく災害・減災対策の推進に関し、防災関係機関等により協議を実施 防災会議1回開催、防災会議委員70名出席	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	「猪の満水」（令和元年東日本台風）災害デジタルアーカイブ事業	9,399 千円	9,492 千円	9,963 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	令和元年東日本台風災害の被災・復旧・復興に関する資料の収集	負担金	令和3年10月に公開した災害デジタルアーカイブサイトで、県・市町村・関係団体から収集した資料を公開 写真・動画等の資料4,000点公開	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	火山避難施設整備支援事業		7,883 千円	32,153 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	火山避難施設整備の支援	補助金	御嶽山の火山防災対策を推進するため、市町村が行う噴火時における登山者等の避難施設について、整備に要する費用に対する補助を実施 補助件数2件、補助金額32,153千円	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	御嶽山火山マイスター認定・運営支援事業	267 千円	218 千円	332 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	御嶽山火山マイスターの認定及び運営支援	直接	・御嶽山火山マイスター志望者等を対象とした研修会を開催 ・令和4年度は新たに5名の火山マイスターを認定し、制度運用開始から6年で計23名の御嶽山火山マイスターが火山防災・地域振興のために活動 研修会2回開催、火山マイスター5名認定	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	御嶽山の安全登山・防災啓発推進事業				1,168 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	登山者動態等把握調査	委託	令和4年2月に御嶽山の噴火警戒レベルが2へ引き上げられたため、八丁ダルミの規制緩和が困難となり、事業目的が達成できないことから、事業執行を見送り		
2	効果的な火山防災・安全登山啓発活動の促進	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県立御嶽山ビジターセンターにおいて、火山に関する情報等の周知のため、デジタルサイネージを設置 ・名古屋大学から提供される御嶽山火山活動観測モニターシステムのデータをリアルタイムで表示するための環境を整備 デジタルサイネージ2台整備、御嶽山火山活動観測モニターシステム2台整備		
3	御嶽山噴火災害記録の伝承	直接	御嶽山噴火災害記録伝承のため、長野県立御嶽山ビジターセンターに山頂被災物を展示 山頂被災物2点展示		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	名古屋大学御嶽山火山研究施設運営支援事業		11,083 千円	11,083 千円	10,547 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	名古屋大学寄附講座	負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・木曽町三岳支所内に名古屋大学御嶽山火山研究施設を設置、8月からは木曽町御嶽山ビジターセンター内に移転 ・火山専門家と研究補助員が常駐し、御嶽山の調査研究、地元住民を対象とした地域に根差した火山防災の普及啓発活動を実施 御嶽山シンポジウム1回開催、火山防災教室2回開催		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	令和元年台風第19号災害等に係る被災者支援事業		2,236,255 千円	196,347 千円	18,429 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	災害救助費負担金	負担金	令和元年東日本台風災害等において、災害救助法に基づき市町村が行った被災者への救助に係る費用を県が負担 負担対象4市村、負担額16,616千円		
2	信州被災者生活再建支援制度補助金	補助金	令和3年8月大雨災害及び令和3年茅野市土石流災害に関し、住家に被害を受けた被災者へ支援金を支給した市町村に補助を実施 補助対象4世帯、補助額1,812千円		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
8	災害対応用石油製品備蓄促進事業		3,966 千円	2,430 千円	2,401 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	重要施設・緊急車両向け備蓄	負担金	災害発生による重要施設の停電や、燃料供給路の途絶による燃料不足に対応するため、県内の給油所や配送拠点による石油製品の一定量備蓄に要する管理経費を負担 備蓄箇所数69箇所、負担金額2,401千円		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
9	その他事業		1,174,844 千円	969 千円	41,097 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	災害見舞金	直接	令和4年度に発生した自然災害等により、被害を受けた県等に対して見舞金を交付 県外：4県（延べ5件）に計1,400千円交付，県内：6世帯に計122千円交付		
2	火山防災協議会事業	負担金	・火山防災において中枢を担う火山防災協議会の運営費用を負担 ・広域避難計画策定業務の委託、噴火時等を想定した防災訓練の実施及び火山防災協議会構成自治体の火山防災について理解を深めることを目的とした勉強会を開催 広域避難計画1件作成、火山防災訓練2件実施、負担金額950千円		
3	国民保護協議会開催事業	直接	協議会に諮るべき計画変更がなかったため未開催		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
10	御嶽山ビジターセンター整備事業		0 千円	0 千円	69,861 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	火山防災に関する展示の製作	委託	火山情報の発信や防災情報の普及啓発のため、長野県立御嶽山ビジターセンター展示の映像コンテンツ等を整備 御嶽山噴火に関する映像コンテンツ2点等整備		